



いつでも どこでも 市民とともに!
よしお か か ず え

吉岡 和江

Kazue Yoshioka

福祉・くらしの充実に全力

1

20年間のあゆみ

みなさんといっしょに貴重な成果

2

わたしの政策

いつも市民のみなさんと共に

3

わたしの経歴

吉岡和江のプロフィール

4

私たちは推薦します

みんなの願いが生きる市政に

日本共産党

市民の願い実現へ しっかりがんばります

ごあいさつ

15年前の消費税増税以来、景気は冷え込み、先の見えない不安が広がっています。私は、福祉・暮らし、子育て、中小業者・市民の生活への支援や安心・安全対策を求めてきました。不況の中、リフォーム助成制度は実現できましたが、一方で国の国保・介護サービス切り下げや下水道料金の値上げなど市民負担は増大しています。若者や女性の2人に1人は不安定雇用で、障害者や高齢者、中小業者やそこで働く人々に貧困と格差が広がっています。消費税増税や平和憲法を改正する動きに市民の心配の声は広がっています。また、福島原発事故は原発の危険性を改めて示しました。国の悪政から市民の暮らしを守り、福祉の充実を図る市政の役割が求められます。

これからも、みなさんと力を合わせ、平和で緑豊かな、だれもが人間らしく暮らしていける、安心の鎌倉市政のため力を尽くします。



埼玉県川口市生まれ。65才 / 北里大卒。元清泉小学校教師。たんぽぽ保育園保育士 / 93年初当選以来5期連続当選 / 観光厚生常任委員長、決算特別委員会委員長、議会運営委員会副委員長、県後期高齢者医療広域連合議会議員など歴任 / 現在、観光厚生常任委員、農業委員 / 日本共産党鎌倉市会議員団団長 / こどもたちは結婚し、現在夫と2人暮らし / 梶原 5-11-7
電話 0467-44-6628 (FAX も)

みなさんといっしょに貴重な成果

小児医療費無料化 小学校6年生まで拡大

保育や医療、女性、消費者団体等
でつくる「鎌倉市の乳幼児医療費無
料化を求める会」などが粘り強く運
動し、議会でも取り上げつづけ、市
や市議会に働きかけてきました。初
当選時は0歳児のみから、H17年に
所得制限なしで就学前までに。H18
年10月から小学校3年。H21年10
月から小学校6年生までに年齢拡大。

たんぼぼ分園



子育て中の保護者との懇談

深沢地域に保育園増設

保育園の待機児解消のため、保育
園増設を要求。H23年ぴよぴよ開設、
旧深沢保育園跡地にたんぼぼ保育園分
園が開設され、受け入れ対象を就学前
まで拡大。その後、定員増に。



特養や老健施設の増設

「市有地に特養建設を」と議会で提
案。H19年に今泉、稲村ガ崎に2カ所。
さらにH20年に大船技工跡地、H24
年に関谷に。H27年春には山崎に開
設予定で10カ所に。「老健施設に市
独自の補助金制度」をと要求。ゼロだ
った施設は4カ所に増設。

深沢小学校空き教室に学童 定員増や学校から 遠い学童の改善

小学校から遠い「かじわら子ども
の家」から深沢小学校空き教室に移
転（定員は35名から70名に）。そ
の後さらに定員が増えたため、2教
室から3教室に。

関谷特養ホーム



障害持つ人も安心して暮らせるまちに

視覚障害の方から、選挙公報の改善要望が寄せられ、選挙管理委員会と話し合い。今回の市会選挙から朗読ボランティアのご協力をえて音声選挙公報が実現。

安心・安全なまちづくり 水害・災害から市民を守るために

8年前の台風被害以来、原因究明と抜本的対策を求めてきました、市民のみなさんとともに国縣市など関係機関へ何度も働きかけてきました。その結果水害原因調査や早期の崖地対策（手広地域の防災工事）腰越中脇や梶原川水路の拡張とU字溝蓋の網目化、二股川や猫池の浚渫、^{しゅんせつ} 県道の雨水ますの掃除などの改善を行いました。



常盤口バス停 大仏方面標識改善

歩道が狭く、歩行者の安全のため、H24年4月にバス停標識を改善しました。（ブロック塀に直に設置）



常盤口バス停 藤沢・鎌倉山方面行き の待ちスペース拡張へ

常盤口バス停（藤沢方面）はバス停前にバスを止められず、通勤時には待つ人が車道にはみ出しそうになることから改善要望が寄せられました。地主さんのご協力を得て、用地取得面積を確定し、平成25年度早々に用地買収を行い、整備することに。



モレール駅のバリアフリー化、ミニバスの拡大

体の不自由な方々から駅のバリアフリー化をとの要望を受け、モノレール会社や市と交渉を重ねました。町屋、大船、西鎌倉等の駅及び周辺の点字ブロック、エレベーターを実現しました。あおぞら園付近までのバス延伸や鎌倉駅西口などのバス便の回数を増やすよう要望し、萩郷路線では朝夕の便を増やすことができました。



モノレール会社との話し合い

梶原東市営住宅 外階段に手すりを設置

市営住宅入居者の高齢化が進んでいます。外階段で転倒事故があり、手すりをつけてほしいと要望がありました。H24年3月5、6号棟に、H25年3月に3、4号棟に設置。



高齢者交通優待 制度の改善を

市民のみなさんと高齢者バス優待制度実現に向け署名を行い、H9年に市議会で陳情が採択されました。バス会社とも交渉し、H15年からバス優待制度が実現しました。その後、江ノ電、モノレールに拡大。モノレール早かご回数券はH25年に再開が見込まれています。

腰越地域老人セ ンターが建設へ

ご寄付いただいた土地を老人センターにできないかと要望。H25年度設計が行われ、建設することに。



放射能から子ど も達を守りたい

H23年福島原発事故で鎌倉にも放射能の影響が。保育園、学校、幼稚園など子供関連施設の放射能測定を要望。H24年9月からは市民のみなさんが持ち込んだ食品の放射能測定が開始されています。



高校就学援助創設 年3万円の学用品費を補助

経済的な事情で、高校への就学が困難な方が増えているなかで、共産党を含めた4会派で共同提案し新たな就学支援制度を創設。学用品費として年額3万円補助。



住宅リフォーム制度創設

市民の住宅長寿命化の願いと地域経済の活性化、双方の利益になる制度です。経済団体や関係業者そして市民と取り組んできました。H24年から10万円以上の工事に一律5万円の補助が実現。

「声」

金融円滑化法制度の終了に伴い中小零細業者はより一層経営困難に陥る状況が予想されるので保証協会付融資ではなく鎌倉市の独自融資制度を創設してほしい。

道路修繕、カーブミラーも

梶原3丁目S字坂凹凸が改善。(平成23年)



笛田3丁目坂本米店付近カーブミラーの設置。(平成23年1月)



鎌倉山・棟方志功美術館付近カーブミラーの設置。(平成23年4月)



緑・環境保全 市民の熱い思いと結 んで、乱開発規制

夫 婦 池 を 整 備 に 憩 い の 場 所 に

30年にわたり、市民の皆さんと3大緑地を守れと取り組み、台峯は6万、広町は22万もの署名が。都市緑地保全法や都市林公園など具体的保全策を提案。他会派が保全に消極的な中、一貫して全面保全を主張。常盤山、広町に続きH16年に台峯も全面保全へ。また、梶原・山本山、山ノ内のテニスコート予定地も議会と市民運動で保全。最近では極楽寺4丁目（鎌倉山2丁目境）宅地開発の開発許可の違法性を指摘。開発許可取り消しに。



「笛田と鎌倉山の境にある夫婦池を自然な公園にしてほしい」こんなみなさんの願いを元市議の内田八重子さんから引継ぎ、市とたびたび交渉。夫婦池公園は風致公園として都市計画決定。H9年から公園用地買収が始まり、H16年度末から整備が行われ、念願の公園としてオープンへ。市民の調査で公園内に防空壕跡地があることを知り、鎌倉での戦争の足跡として子供たちに知らせたいと市に要望。防空壕跡地を知らせる掲示板がたてられました。



大橋圭介

NPO 法人鎌倉広町台峯の自然を守る会理事長

世界遺産を目指す鎌倉のまちがこれ以上緑を壊す開発や環境破壊は許せません。今、行革が目的のように福祉や市民サービスが削られています。自ら子育てに保育に、教育にたづさわりの、市議となった吉岡さんの活動にこれからも期待したい。市民のために働いてほしい。



いつも
皆さんと
共に



政策

安心・安全な鎌倉に

- ・ ミニ開発に歯止めをかけ、緑と景観保全に全力
- ・ 鎌倉山さくら道、水道道、藤沢鎌倉県道、通学路などの歩道を整備
- ・ 崖崩れ、水害、老朽化した橋など、まちの総点検で災害対策を。
- ・ 街路灯の増設とLED化を市の責任で進める
- ・ 生ごみバイオガス化施設を作り、燃やすごみを減らす。
- ・ ごみの「個別収集・有料化」を見直し、ふれあい収集の拡大を
- ・ すべての原発廃止、土壌や給食材料等の放射能測定の継続を

誰もがくらしやすい鎌倉を

- ・ 交通不便地域へミニバス路線の拡大



- ・特養ホーム増設で700人の待機者解消を
- ・中学校3年生までの医療費無料化を
- ・学童クラブの増設で過密状態をなくす
- ・中学校給食の実現を

[声]

夫婦共稼ぎですが、中学校給食を早く実現してほしい



深沢まちづくりは市民要望で

- ・村岡新駅は開発の前提とせず、見直しを



スポーツ広場や市民が利用しやすい公共施設を作ること

[声]

最近娘のバレーボールに関わっている。小学校の体育館をあいている時だけ使用しているが、自由に利用できる体育館が欲しい。小田原市では自治体でジュニアバレーに協力しているようだ。地元の子供達へのスポーツに少しでも支援がほしい。

- ・モノレール深沢駅にエレベーターの設置を
- ・老朽化した市営住宅の建替え・修繕を
- ・地元業者に仕事が回るようなまちづくりを

活力ある鎌倉を

- ・プレミアム商品券の新設
- ・リフォーム助成の拡充、耐震工事の助成、市有緑地の管理事業励行などで地元業者の仕事確保
- ・若者の雇用確保と就労支援対策を
- ・消費増税中止を

吉岡和江のプロフィール

キューポラのあるまちで

吉岡さんは1947(昭和22)年、埼玉県川口市で鋳物業を営む父母の長女として生まれました。

祖父母から可愛がられたせいか、幼稚園にも一人ではいかれな

いほど人見知りが強くて、小学校までは、えこひいきをする先生に心で反発したりすることはありましたが、口に出してはいえない……。おとなしく目立たない子どもだったそうです。

充実の青年時代

中学校では学校の雰囲気良かったこと、友達に恵まれたことで、少しずつ自分を出せるようになり、クラス委員を引き受けたりして人前でも意見を言えるようになりました。

高校生時代、沖縄出身の先生から「沖縄で反戦運動をして米軍に拷問を受けた」という話を聞き(当時沖縄は本土復帰前で、アメリカの支配下にあった)日本は独立国で平和な国だと思っていた吉岡さんは大変ショックだったそうです。

生徒会の役員となり、高校生フェスティバル参加で『生き生きと自主的に活動してい

る高校生』と出会い、人間らしい社会を目指す生き方を志すようになりました。尊敬していた先生に共鳴し、18歳の誕生日に日本共産党に入党。自分も将来は教師になりたいと考え北里大学へ進みました。

大学では、化学を専攻。卒業後、清泉小学校の教諭になり、理科を教えました。仮説実験授業を提唱する板倉先生の研究室で学習したり、公立の先生たちと理科サークル「アルコール」をつくり、わかりやすい楽しい授業をめざしました。また、私学助成の増額と豊かな教育環境づくりのための運動をすすめました。

結婚そして・・・ふたたび子どもたちの中へ

教師になった翌年結婚……。そして3人の子どもたちは小規模の「たんぽぽ共同保育園」に入園。吉岡さんは保護者の立場で運営に参加し、保育士の労働条件の改善、保育料値上げに反対、補助金の増額のため市と交渉したり、保育所の条件整備のために活動しました。

清泉小学校を退職後、子育てをやる中で乳幼児期の大切さを強く感じた吉岡さんは、「ふたたび働くならやはり教育関係」と、今度は保育士として「たんぽぽ共同保育園」で働くことになりました。

県に小規模保育所への補助金をつけさせるために、県内の保育士さんや保護者たちとねばり強く交渉して実現させました。

また、たんぽぽ共同保育園に乳児14人余りが入れなかったときも、みんなで市と交渉して全員入園の道を開きました。

保育園では、桑の実やおタマジャクシ、せり、つくしとりなど四季の変化にふれる楽しみを求めて子どもたちと散歩に出かけました。

「いろいろな興味を持たせてもら

い、虫や花の好きな子になりました」と園児のお母さんに言われたことが何よりうれしかったそうです。



エピソード

「しんぶん赤旗」の配達をしてくれたのが彼でした。誠実そうな彼がいつしか気にかかるようになったそうです。「つきあってもらえませんか？」と申し込んだのは彼女から……。それからの二人は映画鑑賞、オートバイで江ノ島に行ったりして意気投合。結婚するまでそう時間がかかりませんでした。

しかし、なかなか会う時間がとれなかったため、交換日記をつけて愛をはぐくんだそうです。



私たちは推薦します



松下 宏子
深沢中央診療所医師

国政による社会保障の大幅削減、消費税増税、原発再稼働の動き、改憲の動きに市民の不安は広がっています。

吉岡さんは子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりのため奮闘し、大きな成果を上げてきました。吉岡さんに議員として市民の声を市政に反映し、頑張っていたきたいです。

漆原 晃
電気工事業、町内会役員 / 常盤

地方議会議員の役割はなんといってもその地域住民の生活環境の向上を第一とする議会運営に徹する事だと思います。

それには日頃の地道な地域活動が欠かせないと思いますが、吉岡議員とそのスタッフにより、毎月欠かさず全戸に配布されている「山ざくら」誌による問題提起やその解決への道すじへ向けての取り組み、毎週開かれている生活相談会などを見ますと吉岡和江さんは地域代表としてかけがえの無い人と思います。

私はこれからも市議会議員として更なる活躍を願っています。



みんなの願いが生きる市政に



内田 八重子
元市会議員

光陰矢のごとしと言いますが本当に時のたつのは早いこと。4月にははや市会選です。私が吉岡さんを最大にかけているところは市民の相談、要望に全力を挙げて解決するため取り組むことです。たとえすぐには解決できなくても根気よくとりくんでいます。頑張ってもらいたいと心から思っています。

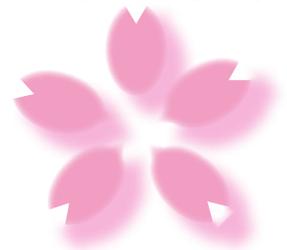


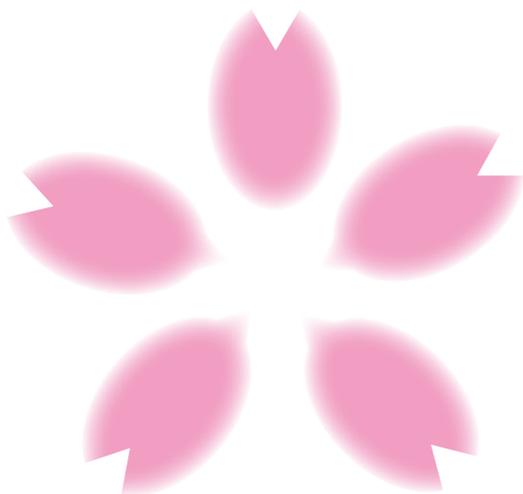
丸山悦子
たんぽぽ保育園園長 / 梶原

吉岡さんとはお互い3人の子どもを育てながらたんぽぽ共同保育園で働いてきた仲です。彼女は正義感の強い、行動力のある人で市議20年間のなかでもその人柄は試され済みです。国・県の施策のしわ寄せを受けて市民生活は益々大変な状況になる中、市民の味方としてこれからも頑張ってもらいたい人です。

私たちは推薦します

- | | | | |
|--------|------------------------|--------|---------------------------------|
| 赤間 勝美 | 救援会鎌倉支部 / 梶原 | 本多 ミヨ子 | 主婦 / 津西 |
| 伊藤 光枝 | 主婦 / 常盤 | 牧野 富夫 | 労働総研代表理事 / 梶原 |
| 上谷 勇行 | 手広後援会 / 手広 | 増本 一彦 | 弁護士 / 西鎌倉 |
| 内田 八重子 | 元市議会議員 / 鎌倉山 | 丸山 悦子 | たんぽぽ保育園園長 / 梶原 |
| 大橋 圭介 | 鎌倉広町台峯の自然を守る会 / 腰越 | 目黒 千代恵 | 歯科医師 / 西鎌倉 |
| 風間 慎子 | 元たんぽぽ保育園園長 | 八嶋 雄悦 | 神奈川県土建一般労働組合鎌倉逗子葉山支部 |
| 加藤 幸三郎 | 専修大学名誉教授 / 寺分 | 山田 吉宥 | 神奈川県土建一般労働組合鎌倉逗子葉山支部執行委員長 |
| 児玉 治子 | 沖縄舞踊家 / 笛田 | 横尾 妙子 | 神奈川県土建一般労働組合鎌倉逗子葉山支部主婦の会会長 / 笛田 |
| 小玉 晴美 | 看護師 / 手広 | 横川 隆子 | 看護師 / 手広 |
| 坂本 亘 | 八重桜後援会 / 寺分 | 渡部 輝次 | 八重桜後援会 / 寺分 |
| 諏訪 愛子 | 主婦 / 津西 | | 順不同 |
| 中島 良夫 | 鎌倉民主商工会事務局長 / 笛田 | | |
| 高須健太郎 | 深沢中央診療所事務長 | 小池 晃 | 前参議院議員 |
| 畠山 ハル | 主婦 / 笛田 | はたの君枝 | 元参議院議員 |
| 早川 鉄郎 | 深沢・村岡地区の再開発を考える会長 / 寺分 | 志位 和夫 | 衆議院議員・党幹部会委員長 |
| 原 康之 | 鎌倉業者後援会会長 / 梶原 | | |
| 平澤 英昭 | 鎌倉労連幹事 / 手広 | | |





暮らしのこと、地域のお困りごとなど、気軽にご相談ください。

山ざくら

日本共産党市会議員団
深沢・手広・腰越地域版

2013年3・4月号外
鎌倉市常盤208

TEL/FAX 31-8180

www.jcp-kamakura.jp

info@jcp-kamakura.jp